

第2回 玉野市消防本部署所再編検討委員会 議事概要

日時 平成31年3月25日(月)14:00～15:30

場所 玉野市消防本部 3階大会議室

出席者 築島 尚 (岡山大学大学院社会文化科学研究科教授) 藤田 尚徳 (玉野地区防火協会会長)
善勝 剛志 (岡山県消防保安課長) 中根 正雄 (玉野市消防団長)
太田 通雄 ((株)三井 E&S ホールディングス玉野総合事務所 自衛消防隊長)
森永 美代子 (玉野市婦人協会会長) 大西 英利 (玉野市医師会 事務局長)
飯尾 美代子 (玉野市地域包括支援センター次長) 近藤 寿子 (玉野市教育委員会 委員)
岡崎 幸生 (東兎中学校区 東兎地区コミュニティ協議会 会長)
立花 美雄 (山田中学校区 山田地区コミュニティ連絡協議会 会長)
東山 明正 (宇野中学校区 築港西コミュニティ協議会 会長)
江田 康夫 (玉中学校区 玉地区コミュニティ協議会 会長)
田中 徹 (日比中学校区 渋川連合自治会 会長)
大西 敏夫 (荘内中学校区 荘内連合自治会 会長)
瀬良 一成 (八浜中学校区 見石ニュータウン自治会 会長)
オブザーバー 末森 良介 (玉野警察署 副署長) 代理 山下 幸浩 (玉野海上保安部 救難係長)
事務局 黒田 晋 (市長) 桑折 恭平 (政策財政部長)
松岡 秀樹 (消防長) 齊藤 誠二 (消防本部次長)
井上 潤一 (消防総務課長) 美本 一晃 (消防総務課参事)
中嶋 英生 (財政課長) 津田 岳史 (財政課長補佐)

議事の概要

1 開会

2 開会あいさつ (玉野市長)

3 委員紹介

前回欠席者、東兎地区コミュニティ会長 岡崎 幸生様。

4 議事進行

委員長 前回質問があった、今後の検討会の進め方について改めて確認します。

委員の任期が平成32年3月までとなっているが、見学してお分かりのように施設の老朽化がかなり進んでおり、通信設備も平成32年に更新の時期を迎えます。いつ起こるか分からない災害に対応できる体制をできるだけ迅速に整備するためにも、早めに議論を進めていく必要があるかと思えます。また、質疑応答についてもできるだけ多くしていくためにも、早めに議論を進めていく必要があるかと思えます。

検討会を月1回程度の集中した議論を重ねていきながら半年後の夏ごろを一つの目処として進めていきたいと思えます。

委員の皆様のご意見としては概ねご賛同ですが、事務局として不都合等ありますか。

事務局 異論はございません。

委員長 それでは夏ごろを目処に検討会としての意見集約してまいりたいと思います。
それでは次第4の第1回検討会依頼資料について事務局から説明をしていただきます。

事務局 (1) 第1回検討会依頼資料について
※資料により事務局説明

委員 組織図で消防本部が外に出ているが、消防本部と消防署を別に分けるのか。

事務局 一体で移転したいと考えています。

委員 今は消防本部は市役所の隣で危機管理上非常に便利だと思うが、移転すると離れても仕方ないと考えているのか。

事務局 市役所内に災害対策本部ができれば何名か常駐しています。

委員 署所別管轄人口で、人口が重なっていた地区はどこか。

事務局 田井と長尾です。

事務局 資料(2)①消防署出張所再編案について説明。

委員 八浜、東兎で土地を自由に使える所はどこか。

事務局 山田の和楽園の跡地と見石の公園です。

委員 消防庁舎が移転した場合、ここは出張所になるのか。

事務局 現在の消防庁舎は、建物が古く液状化と津波浸水区域内であるので移転を考えています。出張所として残すことは考えはありません。

委員 現場到着時間6.4分について消防も同じか。

事務局 消防車の時間は装備するものが違うので若干遅れると思います。

委員 2の①ブルーの円が各出張所で描かれているが、各署所からこの円の範囲に行くまでに6.4分かかるということか。

事務局 はい。そうです。

事務局 (3) その他 についてご説明
次回の開催予定ですが、5月中旬以降でいかがでしょうか。
次回では、本日のご意見・ご質問の内容を考慮した上で、また、ご依頼のありました資料を作成いたしまして、さらに踏み込んだご意見を伺いたいと考えております。

委員長 再編をしていく上で、出張所は2箇所なのか3箇所が良いのかその辺りの委員の意見を伺いたいと考えていますが、何かしら目処があるのでしたら議論がしやすい。

事務局 消防としてのイメージはお示したが、委員の方でもっと違う意見があれば伺いたい。

委員長 資料を見ながら1署4出張所体制を今度移転するとしたら、財政の逼迫した状況が前提で。意見があればお願いします。

委員 荘内中学校より西で緑も赤も何も無い所に住所がある。今後、新しい消防署を作ると

きに考えて欲しい。

事務局 玉原の運動公園のあたりに作れば荘内も若干良くなると思います。

委員 全エリアをカバーするのは無理だと思いますが、よく考えて再編して欲しい。

委員 玉地区は密集地帯で全焼、類焼の火災が2年に1回又は毎年くらい発生している。住宅が密集している。そういったことも加味しながら考えていって欲しい。

事務局 検討してまいります。

委員 考慮してくれたら良いです。

委員 地図の件ですがやっぱり赤にも青にも入っていないところに現状何分かかるとわかるように説明して欲しい。

事務局 深山に移転すると決定していない状況であり、資料は用意しておりませんでした。

委員 案があるのなら説明が欲しい。

事務局 いかに消防力を落とさずに再編できるかを検討しています。

委員長 より具体的な案がないと確かに時間などの議論はしにくいと思うので、少し具体的なものを次回は提示していただけたら助かります。

委員 出張所別の消防と救急が何件か、分かれば教えていただきたい。

委員長 手元にないようでしたら次回必ず報告していただきたい。

委員 各出張所で事故が同時に起きたときに心配である。件数がわかれば合わせてお願いします。

事務局 救急の件数は用意します。

委員 再編後は目標何分までで到着しますよということができないでしょうか。

事務局 青い円は署所を編成した場合の平均時間でカバーできるイメージです。

委員 平均でこれだけかかったのではなく、消防体制としては、これを基本にしてますよという方が円が広くても安心感がある。

事務局 再編計画では、救急車を2台体制にすることで、今の消防力、市民サービスを落とさないよう検討しています。

委員 各出張所の救急件数を踏まえて高齢化率もわかれば教えていただきたい。

事務局 次回、資料を用意いたします。

委員 平均6.4分で処理できてるということは、近いところは3、4分で行ける。遠いところは10分かかっているというイメージか。

事務局 そのとおりです。

委員 出張所を移転したら5分でこの範囲が行ける。8分ならこの範囲が行けますといった表示の方が理解しやすい。地域に帰って説明もしやすい。

事務局 見やすく、説明しやすい資料を次回までに用意いたします。

委員 災害についてはどのように考えているのか。

事務局 災害発生時には、消防団が今までどおり地区ごとに配置されており、今までと何ら変わりないので安心してもらえる。

委員 消防団は18分団ある。今までどおりあてにされていいですよ。

事務局 消防団や地域防災組織の役割は大切であり、地域にとってはそちらの方が密着したものだと考えます。

委員長 6. 4分の円というのは、そこから出動する消防車、救急車が入電から現地に到着するまでの時間であり、再編に合わせて今の機能を損なわないように円を例示されていると理解していますが、それで良いでしょうか。

事務局 はい。そうです。

委員長 ということ、団は団で重要な役割を担っている事に間違いはない。

委員 桜の季節になると深山の前の道路は大渋滞になるがその辺はどう考えているか。

事務局 建設の場所にもよるが、決して遅れとかなないように出動の道は確保するようにしたいと考えています。

委員 現状と移転後を別紙に分けたほうが持ち帰って説明がしやすい。

事務局 別の方が見やすいというご意見と、重ねた方が分かりやすいというご意見があとありますので、いずれにするか協議して欲しい。

委員 移転後は、「全部の地域がカバーできるようになった」とか、「最大何分で行ける」というような方が分かりやすいと思う。

事務局 移転先はまだ決まっていないので、事務局が想定しているところで示しても良いか。

委員 それでいい。

委員 署と出張所の再編整備ということは、4箇所の出張所を整備しようという意味か、それとも整備しようということ全体を皆で議論しようという意味か。

事務局 将来の消防のあり方について検討していくということで、出張所の数も議論していただきたい。

委員 具体的な図面を次の会議に出して欲しい。

委員長 私もこれだけでは検討のしようが難しいのではないかと思う。
財政面、効率化を加味して2つとか3つとかの具体例を示していただきたい。

委員 出動回数、その他の統計を含めた模擬的なものを見せて欲しい。

委員長 あくまでも模擬的で、それを皆さんで検討したいという意見でございとも思う。
委員会の方針としては、より具体的な1署2出張所案又は1署3出張所案を次回は示していただきたいと思いますが、次回は準備よろしくをお願いします。

事務局 わかりました。

委員 石島で火事があったが、島で火事があったら、深山に移転したら島はどうなるか。

事務局 現在、東兎出張所が出崎から、本署が日の出海岸からとなっており、変わりません。

委員 深山の他に場所はありますか。他に場所がなければ時間費やして資料を作っても無駄になるのではないか。
高齢者の分布によって、署所の配置や車両の数を減したり増やしたりすると、同じ場所からの対応は難しいように思う。

事務局 深山公園以外について、今すぐ場所を選定するのは難しい。
出張所を3つにして救急車を2台ずつ置くと数が増えるので、配置人数も増える。
行革から外れてしまう。
人口的なもの、高齢者の割合については次回資料を整えます。

委員長 再編によって1出張所に2台つけることができるという考えか。本署には何台か。

事務局 本署には予備車を含めて2台。現在は1署4出張所で5台が動いています。

再編することによって本署予備車を含めて6台でカバーしようと考えています。

委員長 3出張所だと、1出張所2台の体制が叶わなくなるという考えか。

委員 将来的な消防署、出張所のあり方として、水害もあったし、深山の方が良い。

事務局の意見を元に、出張所を幾つにするかみんなで考えた方が良い。消防団とかは関係ない。

人口を元に事務局側も深山と言っているのではないかと思う。その前に、出動回数を今言ってもこれは二の次、三の次で高齢者の救急件数は関係あるのか。いずれにしても移転先のことと、消防署出張所を何カ所にするかを議論することが先ではないか。

委員長 議論を進めていく中で、より具体的な1署2又は3出張所の意見が出て、救急車の2台配置を考えると2出張所が良いのではないかと事務局から意見をいただいている。2出張所と3出張所では本署の位置もぐるぐるとなりかねない。深山が移転候補地で良いか。

事務局 市としても財政が逼迫状況にあるので、これを元にして委員の意見を聞きたい。

委員長 仮の2出張所案を原案として示していただいて、候補として3出張所案も示していくと、より良い形が考えられると思う。

高齢者の方も配慮した配置を考えて欲しいという意見。沿岸部分に工業地帯があり、大規模火災に対応できる一番優秀な消防車を配置できる事も考えないといけないと思います。

委員 例えば円が外れているところがあっても良いから、ここが10分、15分かかるというのを細かくしてもらわないと説明に困るので詳しくしてほしい。

事務局 円が二重になっても、示したほうが分かりやすいということでしょうか。

委員 役員会で説明するのに、説明のしようがない。

委員長 シュミレーション自体が2台あればどうなるか。おおまかなシュミレーションがあると説明がしやすいと思う。

委員 何も分からない人に説明するので、心配している人がたくさんいる。

委員 本署が玉にあったとき、宇野に移っても玉まで5分で来ますという説明が記憶に残っている。火事とか1秒を競うので、5分で玉まで来ますよという説明は大切だと思う。

委員長 次回はより具体的な案を示していただきたいと思います。

ほか全体について意見はありますでしょうか。

時間はありますが、本日の委員会はこれ終わりにして進行を事務局にお返しします。

閉会